

医療費控除の明細書の書き方

確定申告で医療費控除の申告をする際は、医療費の明細書を添付する必要があります。健康保険組合等から発行される「医療費のお知らせ(医療費通知)」や医療機関の領収書をもとに、ご自身で1月1日から12月31日までに支払った医療費を計算し、明細書を作成してください。

医療費のお知らせ

令和〇年〇月〇日

受診年月	受診者氏名	医療機関等の名称	区分	日数	医療費の総額	支払った医療費の額 (患者負担額)	減額区分
〇〇〇〇	岩倉 太郎	医療法人〇〇病院			〇〇〇〇円	〇〇〇円	
〇〇〇〇	岩倉 太郎	〇〇〇〇歯科医院			〇〇〇〇円	〇〇〇円	
〇〇〇〇	岩倉 太郎	▲▲薬局			〇〇〇〇円	〇〇〇円	
合計					●●●●●円	●●●●●円	

医療費控除の明細書

氏 名

(1) 医療費通知に記載された医療費の額
(自己負担額) (注)

円

(2) (1)のうちその年中に実際に支払った医療費の額

円

(3) (2)のうち生命保険や社会保険(高額療養費など)などで補填される金額

円

① 医療費のお知らせをもとに記入

合計欄に記載されている医療費全体の合計額を(1)へ。支払った医療費の額(患者負担額)を(2)へ。(2)のうち、後から生命保険や高額療養制度により補填された分は(3)へ記入してください。

② 領収書をもとに記入

上段の「医療費のお知らせ」に関する欄には含まれていない医療費について、領収書をもとに記入します。医療を受けた人の氏名と医療機関別に1年間の金額を(4)へ。補填された分を(5)へ記入してください。

③ 合計額を計算する

Aに「ア」と「ウ」を足した金額を、Bに「イ」と「エ」を足した金額を記入してください。

④ 控除額を計算する

表に従って、当てはまる数字を記入し、控除額を算出してください。

2 上記1以外の明細

(1) 受診者氏名	(2) 病院・薬局などの支払先の名称	(3) 医療費の区分	(4) 支払った医療費の額	(5) (4)のうち生命保険や社会保険などで補填される金額
		<input type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入	円	円

3 控除額の計算

支払った医療費(合計)	円	A
保険金などで補てんされる金額		B
差引金額(A-B)	(赤字のときは0円)	C
所得金額の合計額		D
D×0.05	(赤字のときは0円)	E
Eと10万円のいずれか少ない方の金額		F
医療費控除額(C-F)	(最高200万円、赤字のときは0円)	G

▼よくあるご質問

Q 医療費控除の明細書を記入したいが、健康保険組合等から送られてくる「医療費のお知らせ」が、10月分までしか届いていない。どうすればよいのか？

A 確定申告では1月から12月に支払った医療費を申告しますが、申告時期までに健康保険組合等から発行される「医療費のお知らせ」は10月分までです。まだ発行されていない11月と12月の医療費については、領収書をもとに明細を記入してください。